

論より証拠 – BPA は安全です!



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2019年9月3日 (火) [SAFETY](#)

この時を待ちに待っていましたが、その結果が世界中に公開され、利用可能になりました。BPA の CLARITY Core 研究結果がたった今、査読付き科学文献に[掲載](#)されました。これは、米国食品医薬品局(FDA)の上級科学者が行った複数年に亘る研究が完結した事を示しています。

大したことないように聞こえるかもしれませんが、何だかんだ言っても結局のところ、大々的に取り上げられない(または取り上げられるに値しない)科学的研究が毎日公開されています。しかし、この CLARITY Core 研究は違います。あらゆる点で注目する価値があります。

BPA の安全性に関して重要な科学的質問に答え、残された不確実性を解決するために FDA の科学者が包括的研究プログラムの設計を開始してからほぼ 10 年が経過しました。[CLARITY Core 研究](#)は BPA に対して行った全ての研究の中で最大の研究である事は言うまでもなく、そのプログラムの最高の成果です。

[米国政府の科学者が行った既往の研究](#)では BPA のヒトへの曝露は非常に低く、曝露後に BPA は体内から迅速に排泄されることが分かっています。総合すると、これらの結果から私たちが曝露する可能性のある非常に低いレベルでは、BPA は健康への影響を引き起こさないだろうと予測できます

しかし、ことわざにあるように、「論より証拠(プディングの味は食べてみないと分からない。)」であり、それはまさに FDA の科学者が行ったことです。CLARITY Core 研究は、これまで行われた中で最大の BPA 研究で、一生涯を通じて実験動物に様々な用量範囲の BPA を経口曝露させました。最も重要な結果は、生涯を通じて人々が経験するであろう極微量レベルに近い最低用量のもので、

要するに、この研究結果は低用量 BPA が健康影響を引き起こす可能性が低いという既往の研究

からの予測と完全に一致しています。この研究の著者等が述べたように、「証拠の重み (Weight of Evidence) アプローチに基づいて、CLARITY Core 研究データは、試験用量範囲の下限では BPA 曝露の尤もらしい有害性を示唆していないと結論付けました。」

世界中の規制当局は一般に、BPA は低用量で安全であると結論付けており、CLARITY Core 研究結果は、これらの結論を補強する強力な補強証拠を提供しています。研究の著者等がさらに述べたように、「本研究で生まれたデータに対する我々の解釈は、先行研究論文の評価と一致していません。」

重要なことには、CLARITY Core 研究は二度の科学的査読を受けました。科学論文出版プロセスの一環として行われる査読に先立ち、独立した科学専門家のパネルが研究報告書案の査読を行いました。査読による批判的評価は、結果の品質と信頼性確保に役立ちます。

FDA の Web サイトで Q&A の形式で明確に述べられているように、「BPA は安全ですか?-はい。」論より証拠、確かな証拠は本当にプディング (CLARITY Core 研究の事?) の中にあります。